

序章 計画の策定にあたって

0-1. 計画策定の背景と目的

大田区は、多摩川と東京湾に接し、古くから水と緑に恵まれた自然環境のもとで、人々の暮らしが営まれてきた地域である。古代には武蔵国の一都として農耕文化が栄え、中世以降は東海道の宿場町や寺社を中心に発展し、近代には羽田空港の開港をはじめとする交通の要衝として、また蒲田を中心とする工業のまちとして日本の近代化を支えた。こうした歴史の積み重ねの中で、区内各地には由緒ある神社仏閣や町工場、旧家などが点在し、地域に根差した伝統行事や祭礼も今なお受け継がれている。

特に、亀甲山古墳をはじめとする考古遺跡、池上本門寺と門前町の町並み、田園調布などに見られる戦前からの住宅地景観に加え、大正から昭和初期にかけて多くの文人が暮らした馬込文士村の面影を残すまちなみや、勝海舟の別邸があったことでも知られる洗足池周辺の風致景観など、区内には多様で独自性のある資源が各所にみられる。しかしながら、近年の都市化の進展や住民構成の変化、伝統行事の担い手不足等の課題により、これらの貴重な歴史・文化資源が徐々に失われつつある。

大田区では、これまでにも景観計画の策定や歴史資産の調査、文化財の保護活用、市民主体のまちづくり活動の支援などを通じて、歴史と文化の継承に努めてきたが、今後はさらに一体的かつ戦略的な取組が求められている。区内の地域特性を生かしながら、歴史的風致を維持・向上させ、次世代へと継承するための仕組みを構築する必要がある。

このような背景を踏まえ、大田区では、「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律」(以下「歴史まちづくり法」)に基づいて、区民の暮らしと密接に関わる歴史的風致を保存・活用し、地域への愛着と誇りを育むこと、また、地域の歴史や文化に根差した魅力ある景観を持続可能なまちづくりの中で次世代に継承すること、さらに、歴史・文化資源を活かしたまちづくりを通じて地域の活力向上を図ること、歴史をめぐり、訪れたくなる、ウォーカブルなまちづくりを推進することを目的として本計画を策定する。

0-2. 計画の期間

計画の期間は、令和8年度(2026)～令和17年度(2035)の10年間とする。

0-3. 計画策定体制

本計画は、以下に示す「大田区歴史的風致維持向上計画策定庁内検討委員会」及び「大田区歴史的風致維持向上計画策定協議会」による検討、協議を経て、令和8年●月に策定した。

また、策定にあたっては、区民等へのパブリックコメントや、大田区文化財保護審議会をはじめとする関係機関への報告・意見聴取を行った。

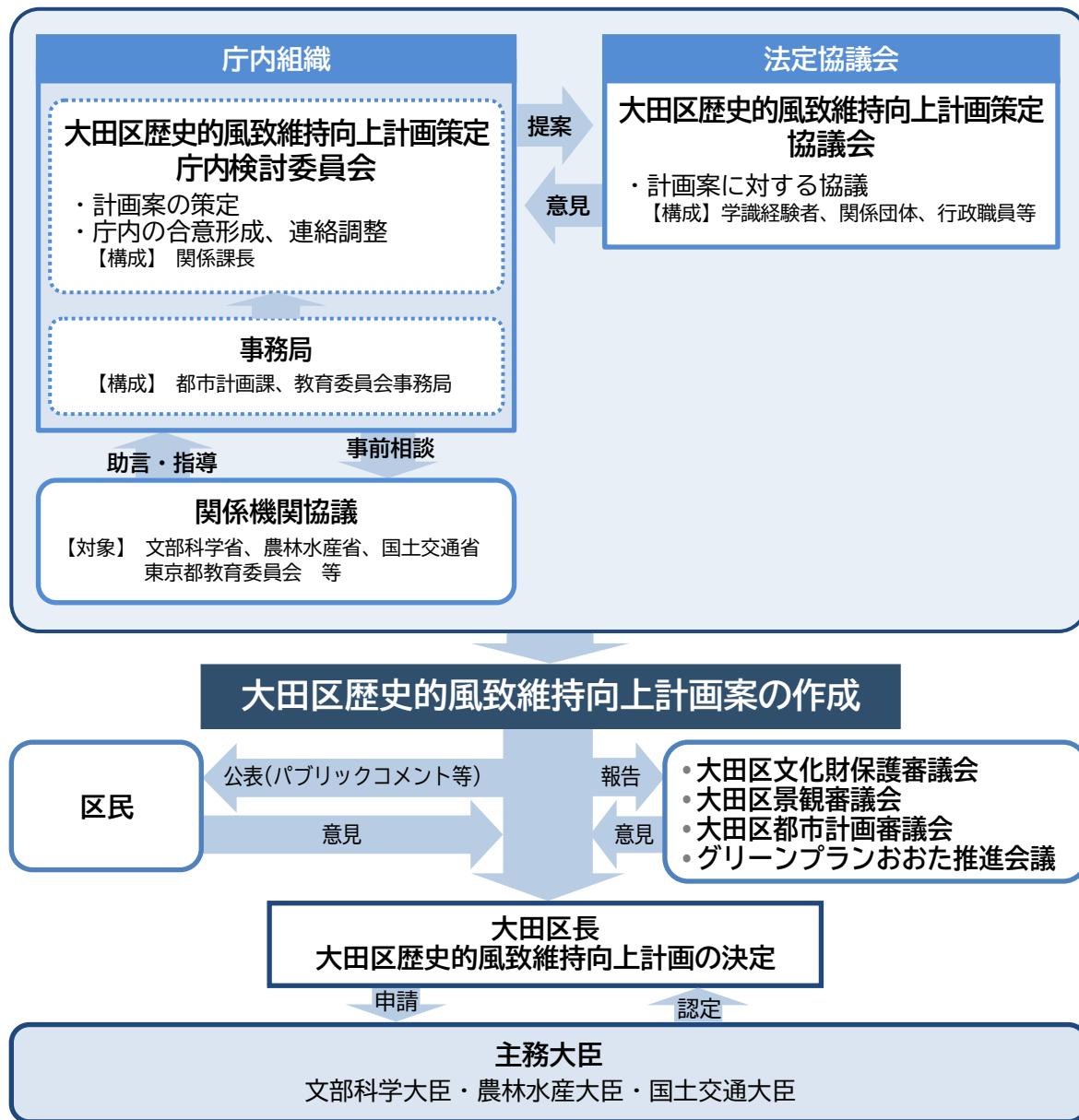


図 0-1-1 計画策定の体制

(1)大田区歴史的風致維持向上計画策定協議会

歴史まちづくり法に基づく「大田区歴史的風致維持向上計画」(以下「歴史まちづくり計画」という。)の策定に向けた協議等を行うために、歴史まちづくり法第11条第1項の規定に基づいて、令和7年(2025)1月28日に「大田区歴史的風致維持向上計画策定協議会」(以下「協議会」という。)を設置した。

表0-1-1 大田区歴史的風致維持向上計画策定協議会委員構成 (令和7年(2025)5月9日時点)

区分	氏名	所属団体等
委員長	島田 正文	一般社団法人 日本公園緑地協会副会長
副委員長	大川 三雄	元日本大学教授
委員	坂本 要	筑波学院大学名誉教授
	村山 栄慎	池上本門寺総務部執事
	安藤 昌就	池上本門寺学芸員
	鈴木 英明	大田区自治会連合会会長
	村石 忠司	池上まちづくり協議会会長
	廣脇 大士	池上まちづくり協議会副会長
	深川 幹祐	池上まちづくり協議会事務局長
	井上 隆義	スポーツ・文化・国際都市部長(令和7.1~令和7.4)
	保下 誠	スポーツ・文化芸術担当部長(令和7.5~)
	梅崎 修二	産業経済部長(令和7.1~令和7.4)
	青木 毅	産業経済部長(令和7.5~)
	西山 正人	まちづくり推進部長
	今井 健太郎	教育総務部長

(2)大田区歴史的風致維持向上計画策定庁内検討委員会

歴史まちづくり計画案の策定を目的に、令和7年(2025)1月22日に「大田区歴史的風致維持向上計画策定庁内検討委員会」を設置した。

表0-1-2 大田区歴史的風致維持向上計画策定庁内検討委員会委員構成 (令和7年(2025)1月22日時点)

区分	氏名	所属・役職
委員	須田 友樹	企画調整担当課長
	石川 里香	産業振興課長
	山田 誉	鉄道・都市づくり課長
	中村 誠	都市基盤管理課長
	後藤 清	大田図書館長
	阿部 大輔	文化振興課長
事務局	深川 正浩	都市計画課長
	田邊 拓真	都市計画課計画調整担当係長
	杉島 貴史	都市計画課主査
	後藤 礼	都市計画課主任
	新井 祐輔	都市計画課係員
	村松 美紀	大田図書館文化財担当係長/郷土博物館長
	田島 太良	大田図書館文化財担当主任(学芸員)

0-4. 計画策定の経緯

要追記（計画申請時）

本計画の策定経緯は、以下のとおりである。

表0-1-3 計画策定の経緯